

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	常呂岐阜
-----	--------------------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,120,886 千円	
当該事業による費用		1,678,485 千円	
その他費用		442,401 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40 年
総便益額（現在価値化）		3,233,914 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.52	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	120,109 千円	排水施設、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、たまねぎ
営農経費節減効果	63,361 千円	排水施設、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、たまねぎ
維持管理費節減効果	-35 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路
計	183,435 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	網走南部西
-----	--------------------------	-------	-----	-----	-------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,352,132 千円	
当該事業による費用		1,872,883 千円	
その他費用		479,249 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		5,504,449 千円	
総費用総便益比	= ÷	2.34	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	194,267 千円	区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、やまのいも等
営農経費節減効果	94,934 千円	区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、だいこん等
農業労働環境改善効果	26,953 千円	区画整理の実施により営農に係る労働が質的に改善される効果 効果要因：急傾斜地ほ場の勾配修正等により、機械の運転による精神的疲労が解消
計	316,154 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	川西西
-----	--------------------------	-------	-----	-----	-----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,141,207 千円	
当該事業による費用		934,122 千円	
その他費用		207,085 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,744,765 千円	
総費用総便益比	= ÷	2.40	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	120,053 千円	排水施設、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、やまのいも等
営農経費節減効果	35,242 千円	排水施設、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、やまのいも等
維持管理費節減効果	-148 千円	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路
計	155,147 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	士幌西部南
-----	--------------------------	-------	-----	-----	-------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,554,600 千円	
当該事業による費用		1,363,429 千円	
その他費用		191,171 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		2,546,156 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.63	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	42,728 千円	区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、牧草、青刈りとうもろこし等
営農経費節減効果	83,786 千円	区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、牧草、青刈りとうもろこし等
農業労働環境改善効果	18,080 千円	区画整理の実施により営農に係る労働が質的に改善される効果 効果要因：急傾斜地ほ場の勾配修正等により、機械の運転による精神的疲労が解消
計	144,594 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	新得
-----	--------------------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,182,898 千円	
当該事業による費用		996,826 千円	
その他費用		186,072 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		2,784,906 千円	
総費用総便益比	= ÷	2.35	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	28,539 千円	排水施設及び農道の整備、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、小豆、にんじん等
品質向上効果	217 千円	農道の整備を実施した場合に農作物輸送時における荷痛みが減少する効果 対象作物：ばれいしょ
営農経費節減効果	17,805 千円	排水施設の整備、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、にんじん等
維持管理費節減効果	491 千円	排水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	94,222 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	1,805 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
計	143,079 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	北海道	地区名	勢雄
-----	--------------------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	11,030,627 千円	
当該事業による費用		1,986,993 千円	
その他費用		9,043,634 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		13,379,097 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.21	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	485,186 千円	用水施設及び農道の整備、区画整理、暗渠排水並びに土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：てんさい、ばれいしょ、にんじん、ごぼう等
品質向上効果	37,221 千円	用水施設の整備を実施した場合に品質向上により農産物単価が上昇する効果及び農道の整備を実施した場合に農作物輸送時における荷痛みが減少する効果 対象作物：だいこん、にんじん、ごぼう、スイートコーン等
営農経費節減効果	320,808 千円	用水施設の整備、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、小豆等
維持管理費節減効果	-18,315 千円	用水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	38,181 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	1,033 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
計	864,114 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・営農用水)	都道府県名	北海道	地区名	音更東部
-----	----------------------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,498,844 千円	
当該事業による費用		2,298,147 千円	
その他費用		200,697 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		3,832,541 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.53	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
営農経費節減効果	185,559 千円	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象施設：営農用水施設
維持管理費節減効果	-14,165 千円	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果 対象施設：営農用水施設
生活用水確保効果	42,924 千円	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合の生活用水確保に係る経費が増減する効果 対象施設：営農用水施設
計	214,318 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	青森県	地区名	屏風山(一期)
-----	--------------------------	-------	-----	-----	---------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	= +	8,153,417 千円	
当該事業による費用		1,566,731 千円	
その他費用		6,586,686 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		48 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額(現在価値化)		13,661,183 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.67	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	441,992 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：ながいも、にんにく、ながねぎ、だいこん等
営農経費節減効果	264,663 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：メロン、ながいも、にんにく、ながねぎ等
維持管理費節減効果	20,483 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、揚水機
計	686,172 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	都道府県名	岩手県	地区名	男神・米沢・湯田
-----	-----------------------	-------	-----	-----	----------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,981,385 千円	
当該事業による費用		1,298,211 千円	
その他費用		2,683,174 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		4,587,189 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.15	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	50,842 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：きゅうり、りんご、おうとう等
品質向上効果	47,186 千円	用水施設及び農道の整備を実施した場合に農作物の品質が向上する効果 対象作物：レタス、りんご、きゅうり、おうとう等
営農経費節減効果	136,173 千円	用水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：りんご、おうとう、きゅうり等
営農に係る走行経費節減効果	14,786 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
維持管理費節減効果	8,827 千円	用水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農道、揚水機

効果項目	年効果額	効果の要因
地域用水効果	1,203 千円	用水施設の整備に伴う防火施設の設置費用が節減する効果
文化財発見効果	13,319 千円	当該事業により発掘調査を実施することにより効果発生の遅延回避する効果
計	254,682 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	都道府県名	茨城	地区名	本郷高野
-----	-----------------------	-------	----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,284,129 千円	
当該事業による費用		1,662,994 千円	
その他費用		621,135 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		52 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,534,339 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.10	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	59,086 千円	区画整理，用排水施設，農道の整備を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：ピーマン、千両、若松、小菊等
品質向上効果	17,187 千円	用水施設や農道の整備を実施した場合としなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：ピーマン、千両、若松、甘藷等
営農経費節減効果	34,545 千円	区画整理，用排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、千両、若松、甘藷等
維持管理費節減効果	9,910 千円	区画整理や用排水施設，農道の整備を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水機場，農業用排水路，農道
営農に係る走経費節減効果	4,249 千円	農道の整備を実施した場合としなかった場合での農業交通に係る経費が増減する効果 対象施設：農道
農業労働環境改善効果	41,408 千円	排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での営農に係る労働が質的に改善したり悪化したりする効果 対象施設：農業用排水路
一般交通等経費節減効果	1,767 千円	農道の整備を実施した場合としなかった場合での一般交通に係る経費が増減する効果 対象施設：農道

効果項目	年効果額	効果の要因
地籍確定効果	4,139 千円	区画整理を実施した場合としなかった場合での国土調査費に係る経費が増減する効果 対象施設：区画整理
非農用地等創設効果	855 千円	区画整理を実施した場合としなかった場合での公共施設用地取得に係る経費が増減する効果 対象施設：区画整理
計	153,326 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	山梨	地区名	御勅使川沿岸
-----	--------------------------	-------	----	-----	--------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,039,794 千円	
当該事業による費用		1,810,183 千円	
その他費用		229,611 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,552,486 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.25	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	102,069 千円	用排水施設の整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合で農作物生産量が増減する効果 対象作物：おうとう、ぶどう、もも、水稻等
品質向上効果	2,705 千円	道路の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：おうとう、もも、ぶどう、すもも等
営農経費節減効果	2,439 千円	用排水施設の整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：ぶどう、きゅうり、もも、おうとう等
維持管理費節減効果	118 千円	用排水施設、農道や鳥獣侵入防止施設の整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、鳥獣侵入防止施設
営農にかかる走行経費節減効果	4,926 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道

効果項目	年効果額	効果の要因
地積確定効果	229 千円	区画整理の実施により地積が明確になり、国土調査費の軽減が期待される効果
被害防止効果	19,937 千円	鳥獣進入防止施設を実施した場合と実施しなかった場合で鳥獣による農産物被害額が増減する効果
計	127,307 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	静岡	地区名	矢部 2 期
-----	-----------	-------	----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4,400,000 千円	
年 効 用		284,910 千円	
廃 用 損 失 額		0 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		50 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0610	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,670,656 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	205,445	用水施設の整備、区画整理の実施による土地利用の向上及び単収の増加。 対象作物：みかん
営農経費の節減	営農に係る走行経費節減効果	14,986	農道新設による積み卸し所用時間の軽減 対象施設：農道
	営農経費節減効果	75,806	区画整理により乗用機械による管理が可能となり、労力の節減が図られる。 対象作物：みかん
	維持管理費節減効果	11,327	用排水施設、農道の整備による維持管理費の増加。 対象施設：農業用排水路、農道
計		284,910	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	住吉 2 期
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	3,233,977 千円	
当該事業による費用		1,077,747 千円	
その他費用		2,156,230 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		50 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		4,312,871 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.33	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	227,096 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さといも、きゅうり、たばこ
品質向上効果	2,136 千円	用水整備と合わせて農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：さといも、きゅうり、だいこん
維持管理費節減効果	4,061 千円	用排水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水路、排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	8,772 千円	用水整備と合わせて農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が増減する効果 対象施設：農道
計	233,943 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	都道府県名	鹿児島県	地区名	第一面縄2期
-----	-----------------------	-------	------	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総事業費		1,762,800 千円	
年効用		128,903 千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		25 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0661	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	1,950,121 千円	
費用便益比	= ÷	1.10	

2. 年効用の総括

項目		年効果額	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	42,037 千円	区画整理の実施による土地利用の向上及び単収の増加 対象作物：さとうきび、ローズグラス、イタリアンライグラス等
営農経費の節減	営農経費節減効果	55,631 千円	区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび、ローズグラス、イタリアンライグラス等
	維持管理費節減効果	3,337 千円	区画整理の実施による施設の維持管理費の増加 対象施設：農道、農業用排水路

項目		年効果額	効果の内容
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	750 千円	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境 の保全・向上	文化財発見効果	408 千円	区画整理の実施に伴い、埋蔵文 化財の発掘調査を行うことによ る文化的価値の明確化
	地籍確定効果	1,009 千円	区画整理の実施に伴い、区画の 整形や確定測量が行われること による地積の明確化
	水辺環境整備効果	32,405 千円	区画整理の実施に伴い、浸透池 の設置等を行うことによる水辺 環境の保全
計		128,903 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	都道府県名	鹿児島県	地区名	手久津久
-----	-----------------------	-------	------	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,350,267 千円	
当該事業による費用		1,164,071 千円	
その他費用		186,196 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		1,993,256 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.47	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	15,661 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での 農作物生産量が増減する効果 対象作物：牧草、ゴマ
営農経費節減効果	93,076 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での 営農経費が増減する効果 対象作物：サトウキビ、牧草
維持管理費節減効果	910 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での 維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道
計	107,827 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	鹿児島県	地区名	第一南亀
-----	--------------------------	-------	------	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,834,596 千円	
当該事業による費用		866,198 千円	
その他費用		968,398 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		1,952,468 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.06	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	105,833 千円	用水施設整備、区画整理及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：ピーマン、メロン、スプレー菊等
品質向上効果	1,513 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物の品質が向上する効果 対象作物：サトウキビ
営農経費節減効果	14,925 千円	用水施設整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：サトウキビ、パレイショ、ローズグラス等
維持管理費節減効果	4,540 千円	用水施設整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道
地籍確定効果	161 千円	区画整理を実施することにより、換地により、地積が明確になり、国土調査の経費が節減する効果
計	117,892 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	沖縄県	地区名	西原第1(期)
-----	--------------------------	-------	-----	-----	---------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	= +	3,942,089 千円	
当該事業による費用		2,059,575 千円	
その他費用		1,882,514 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額(現在価値化)		4,521,903 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.14	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	89,500 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、にがうり、とうがん、マンゴー等
営農経費節減効果	59,465 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、牧草、かぼちゃ、たばこ等
維持管理費節減効果	7,341 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	106,082 千円	区画整理及び関連事業の実施により浸透池等や地下ダムが整備され赤土等の流出量が増減する効果及び水源施設等の整備により緊急水源確保及び学習機会が創出される効果
計	247,706 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	沖縄県	地区名	島中
-----	--------------------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,873,138 千円	
当該事業による費用		874,716 千円	
その他費用		998,422 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		1,892,509 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.01	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	58,813 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	35,827 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	4,535 千円	区画整理及び関連事業を実施した場合としない場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	16,896 千円	区画整理及び関連事業の実施により浸透池等や地下ダムが整備され赤土等の流出量が増減する効果及び水源施設等の整備により緊急水源確保及び学習機会が創出される効果
計	107,001 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	沖縄県	地区名	喜屋武第3
-----	--------------------------	-------	-----	-----	-------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,855,072 千円	
当該事業による費用		999,873 千円	
その他費用		855,199 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,390,381 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.28	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	51,979 千円	区画整理及び用水施設整備を実施した場合としない場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、にんじん、にがうり等
営農経費節減効果	78,103 千円	区画整理及び用水施設整備を実施した場合としない場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、にんじん、にがうり
維持管理費節減効果	4,760 千円	区画整理及び用水施設整備を実施した場合としない場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
景観・環境保全効果	12,699 千円	区画整理の実施により浸透池等が整備され赤土等の流出量が増減する効果
計	138,021 千円	